川越市立特別支援学校の ひとりだち応援便

令和８年１０月５日 第５号
川越市立特別支援学校
電話 049-222-2753
FAX 049-229-1231
校長　　遠山　知子

こんにちは　川越市立特別支援学校　です。本校の校内実習について紹介します。

１学期と２学期の２回、それぞれ４日間「校内実習」の授業を行っています。
校内実習中は特別な時間割です。実際の会社や事業所で行う「現場実習」の前に行います。

時間	内容
8:20～8:30	朝の運動
8:30～8:40	読書
8:40～8:50	朝の会
9:00～10:40	校内実習（100分間）
10:50～12:30	校内実習（100分間）
12:40～13:30	給食・昼休み
13:30～15:00	校内実習（90分間）
15:05～15:20	清掃
15:25～15:35	帰りの会
15:35～15:45	着替え
15:45～	総下校



回数を重ねている先輩たちは、疲れ知らずです
あいさつや返事も大きな声で
かっこいいです。

Q. どうして校内実習をしているのですか？
A. 仕事をするのに必要な次のような力を身につけるためです。
・いろいろな人と気持ちよく働くために必要な態度・表情・姿勢
・正しく、丁寧に仕事をする力
・作業終了後に、報告・点検してもらう力
・わからない時に自分から質問する力

Q. 100分間+100分間+90分間 =290分間も実習をするのは長すぎませんか？
A. 現場実習に行くと、１日平均6時間は働きます。長い時間働くための体力や集中力をつけるために必要な時間と考えています。

Q. 実習では、どのようなことをするのですか？
A. 企業から仕事をいただいてきて、次のような仕事をしています。
・バルーンの弁挿し（風船の空気を入れる場所にストローのようなものを入れる作業）と折りたたみ
・スプレーのノズルつけ
・鉄道模型の部品の組み立て　など



立って行う仕事と座って行う仕事を組み合わせています。



働く力は、特別なことを始めるところからでは、ありません。毎日の学校の生活の中での、小さな経験が、未来の「働く」につながっていきます。
働くことは、お金をもらうことだけではなく、自分の力で、誰かの役に立つことでもあります。
「掃除をしたら教室がきれいになった」
「荷物を運んだら、誰かが助かった」
「あいさつをしたら、相手が笑顔になった」
このような経験も「働く」ことにつながっています。

小・中学生が「働く」ことを意識するためのポイント

1 時間を守る
2 あいさつ・返事をする
3 最後までやってみる
4 ていねいに取り組む
5 困ったら相談する
6 自分の得意なこと、苦手なことを知る

「ひとりだち応援便」の目的は、２つあります。
①みなさんに川越市立特別支援学校のことを知っていただくこと
②小・中学生のみなさんに学びのヒントになる情報をお届けすること
定期的に発行しますので、ぜひみてください。



本校マスコットキャラクター
リッキー